

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-40 調整区域施設整備事業費 □支援部門					タイムスコード及び個別事業名			
	主管課	下水道課		関連課	浄化センター		1395	市街化調整区域内の生活排水処理	
分野名	下水道課・河川								
目標 (目標値)	公共下水道事業、合併浄化槽事業等との連携による市街化調整区域への効率的・効果的な施設整備計画により、事業の推進を図り、公共用水域の保全、公衆衛生の向上を目指す。								
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考					
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯						
	調整区域内処理人口	2,100人							
運営資源 状況	決算値	16,088千円	0千円			指標と評価			
	(国・県)	2,420千円	0千円			指標	汚水管渠整備延長(m)		
	(負担金等)	3,100千円	0千円			評価	○		
	(一般財源)	10,568千円							
	人員配置数	1.3人	0人			◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	人件費	11,523千円	0千円				目標値	実績値	
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費	27,611千円	0千円			20年度	0	0	
	市民1人当りの経費	156円	0円			21年度	0	0	
	対象者1人当りの経費	13,148円	0円			22年度	1,300		
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名	横浜市	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	23年度	2,600		
	人口(千人)	3606.0	176.7	402.3	234.4	最終年度 (年度)	11,100		
	処理人口(千人)	3597.3	170.2	378.9	223.1				H20度末普及率
	率	99.8	96.4	94.2	95.2				(人口)
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・市街化調整区域の生活排水処理については、家屋が点在している箇所もあることから状況に適した水処理(公共下水道、合併浄化槽)を選択し、効率的に行う必要がある。 ・平成21年度の実施設設計委託により、施工予定箇所の設計図書を作成する。 ・未査定道路及び私道等の整備については課題を整理し、関連課や地元調整を進める必要がある。							
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・実施設計委託により、施工予定箇所の設計図書を作成した。 ・未査定道路及び私道等で下水道整備の要望が高い地区については、関連課や地元との調整を進めた。							
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・未査定道路及び私道等で下水道整備の要望が高い地区については、今後も関連課や地元調整を進める必要がある。							
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・平成22年度から汚水管渠の建設工事に着手する。 ・関連課や地元自治会などの協力を要請しながら、早期の下水道整備を実施していく。 ・平成22年度に市街化調整区域の分担金条例を制定する。							
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性	市街化調整区域内の下水道整備を進めながら、合わせて未査定道路及び私道等地元の理解が得られるよう対応する。			評価結果	改善の必要性	市街化調整区域内の汚水管渠の整備は、地元調整を行い早期に完了を目指す。		
A	有				A	有			
課長名	下水道課課長代理 宮崎 隆				部名・部長名	都市整備部 山内 廣行			